



比内地域

ハートヒルとつと(比内福祉保健総合センター)で、各地区から登録したボランティアや団体が、月に3回(水曜・昼)約50食のお弁当を作って配達しています。また、東北電力(株)大館技術センターも月2回、企業ボランティアで配達を手伝っています。

高齢者が安心して生活出来るために

福祉弁当事業は、高齢者の栄養面を補うことだけでは無いんですよ。お弁当を届けたときに利用者の安否が確認出来るし、ボランティアの方々とコミュニケーションを重ねていくことで、



えつこ 佐々木 悦子 比内事務所長

信頼関係を深めていき、高齢者が安心して生活出来る環境づくりを進めていくことが目的なんです。

ボランティアの皆さんは、地域の福祉のためにと一生懸命活動してくれています。このようないい思いを持ってくれる方々がいなければ出来ないし続かないので、私たちはもちろんのこと利用者にとってもありがたいことです。

大館市社会福祉協議会

きたいんですが、活動に参加しないと現状が分からないと思うので、若い方々にどんどん参加してもらい、一緒に地域を守る意識を持って欲しいですね。

数年前に比べて利用者は減っていますが、高齢社会は確実に進んでいます。利用者には、栄養面、健康面を補える手作りお弁当を食べて元気できて欲しいし、他の味を味わい楽しむためにも、ぜひ活用してもらいたいと思っています。そのためにも、ボランティアの皆さんの力が必要不可欠なんです。

企業ボランティアで配達

東北電力(株)大館技術センター

地域のかたと接する 良い機会に

戸沢 地域協調活動を進める社の取り組みで、平成6年から参加するようになり、今は42人が輪番制で配達しています。

私たちは、普段地域のかたと触れ合う機会が無いので、このボランティア活動は良い機会になりますね。私も同年齢ぐらいの親と暮らしてまして、届けた時はいろいろな話をして来るんです。値段も安いし、栄養のバランスも良い弁当だと思おうので、もっとたくさんのかたに利用し

てもらいたいですね。
山田 他の技術センターではこういう活動が無かったので、初めは緊張しましたね。何回か届けているうちに顔も覚えるよう



のりあき 山田徳明さん(左)と もとひろ 戸沢元弘さん

いですね。また、利用出来るかたは、この制度を有効に活用したほうが良いと思います。



はつらつ弁当を利用している皆さんの声



栄養のバランス良く、一品一品丁寧に作られていました。

5年以上前から利用してますけど、毎回配達してもらってとってもありがたいですね。私は好き嫌いが無いし、何でも食べるから、おいしく頂いてますよ。何より手作りなのがいいですね。
80歳過ぎたけど、夏はグラウンドゴルフを楽しんで、冬は雪かきで体を動かしてるから、おかげで丈夫で風邪も引かずに過ごしてますよ。中野のゆっこ(高齢者センター)まで歩いて行くほどだもの。おいしい弁当も食べて、元気に長生きさねばな。



きみよ 富山 喜三恵さん (五日市)